

□日時：平成30年6月9日（土）13時30分～16時30分
□場所：熊本市立図書館（熊本市中央区大江町）2階集会室

第3回「ピースくまもと」設立準備事務局会の概要報告

6 / 16版

1 開会挨拶

……設立準備事務局会代表 小山和作
5/13「ピースくまもと（仮）」設立準備会発足会
では、運営等大変お疲れ様でした。参加者100名を数え、マスコミ各社でも大きく報道いただき、大変良い状態でのスタートではないかと思います。

この後、皆さん方の力をお借りして、設立に向け幾つもの課題がありますが、乗り越えていきましょう。



小山和作代表の挨拶、5/13のお礼

2 参加者自己紹介 ※順不動・敬称略

○小山和作・安藤富士記・上村真理子・矢加部和幸・堀浩太郎・伊藤利明・高野誠二・吉田正昭・永田昭・小山内稔・森 赤瀬恵・宮川和夫・戸崎孝行・石川幸彦・高谷和生

○欠席：久米野安俊・高本謙一・有馬信一・多田喜一郎・平野順也・勝又俊一・二見正輝・山野幸司・末永崇・上田欣也・三隅康資・青木栄・本田清悟

3 「ピースくまもと（仮）」設立準備会発足会

(1) 当日の概要

○日時：平成30年5月13日（日）午後2時～4時45分

○場所：熊本県民交流会館「パレア」第1会議室

○参加者：約100人

○報道関係 熊日（5/1・5/14）・毎日（5/13）・読売（5/14）、くまもと経済（5/18） ※報道資料を参照。また、RKK・TKU・KABでは後日報道あり。

○参加者には、参加者数や取材メディアの紹介も行ったほうが良いのではないのでしょうか。

(2) 当日の反省と課題の整理

※資料 集約アンケート

①当日参加者（性別・年代・お住まい）、各団体からの参加体制等

②発足会の周知（開催チラシの配布状況・報道各機関への紹介 他）

③戦争と平和のミュージアムの必要性

④骨子案・今後の活動について

⑤運営母体について

⑥今後の県民運動としての広がり

⑦平和ミュージアムの名称

⑧進行、構成内容、骨子・趣旨説明、意見発表3名、発足議決、時間配分

○後日、事務局あてに参加者から手紙を頂いた。多くの参加者や若い世代の意見に元気づけられた。一方、平和資料館建設の具体的な計画や候補地・募金等の話がなく残念であったとの意見もあった。

○事務局：参加者からの多様な意見をいただいた。この内容の分析等は時間をかけて、丁寧に進めたいが、多くに方々にも知っていただくためにも、HPでの公開を進めていきたい。

○「アンネフランクハウスの持つ意味。証言や記憶から、その場所へと移る時期を迎えている」「平仮名のひめゆりから、アルファベットのHIMEYURIへと、広がる時代の変化」「ヒットラーの若い世代への情宣が、独裁への道をつくった事実」等の紹介があった。



高谷によるアンケート内容報告

⑨役割分担（受付・アンケート・記録）、資料印刷の準備

○事：受付は三隅さん、赤瀬さん、新老人の会女性部の方々に尽力いただきました。また、アンケート集約は、三隅さんお一人で丁寧にまとめていただき感謝申し上げます。

⑩場内展示（上村さん戦時資料・県内戦跡パネル 他）

○事：当日は上村さん実物資料をご覧いただき、大変好評でした。一方県内戦跡パネルは、会場が手狭だったためか、あまり見ていただけなかったのが残念でした。

⑪のぼり旗3本の三隅さんからの寄付、正面看板

○事：三隅さんに寄付いただいたのぼり旗が会場を賑やかに飾ることが出来ました。また、正面看板は、戸崎さんに大急ぎで立派な看板・題字を作成・対応いただき感謝いたします。

⑫HP掲載状況

○事：当日報道の新聞記事等を掲載している。兵庫県FM局から、HPを見ての熊本空襲体験者の取材依頼が寄せられている。今後、安藤さんで対応いただく予定。

○できる限り協議資料等も公開を原則とし、多くの県民の方々に知っていただく様にする。

⑬会計報告

※資料3・収支報告

○事：83名分の資料代の入金があった。支出はコピー・パネル部材・用紙・印刷代・切手代等で、これを差し引いた残額を、当日配付資料・リーフレットへの「費用弁償」とします。



事務局会に初参加の矢加部さん、伊藤さん、小山内さん、森さん、宮川さん（上段左から下段の右側へ）

(3) 今後の活動計画 等

①「くまもと戦争遺産の旅」

※資料4

○7/1及び8/5の計2回実施予定

○現状の集客状況：7/1は10名程度、8/5は20名程度。募集状況から7/1は中止し、その参加申し込み者を8/5に移動誘導

○6/5に宮川・高野さんと下見実施し、TKUさんも同行され事前取材。その結果を受けて「6/9企画案・コーディネート案」を提示。

○「沖縄での戦跡ツアー等を企画し、是非熊本で実施したかった企画である」「戦後70年熊日等の見学会に参加し、初めて奉安殿というものを知った」「この見学会を通じた実体験を、次世代の子ども達に伝えることが大切だと考えている」

○「モデルコースとしては、本来は2回に分けてもよいコース内容の設定である」「県外旅行会社からの本県への修学旅行での戦跡平和ガイドの問い合わせもきており、事務局としては基本コースとしてぜひ設定したい」「フルボリュームの見学コースだが、熊本の戦跡見学のモデルコースと考えている」「親子参加ではこの旅行代金の設定は、旅行会社としては採算ギリギリであろうが負担が大きい」「職域団体の同様見学会では、各団体からの補助もあり2000円台が現状である」「参加での助成金の様なものがないだろうか」「目玉となる食企画等が設定されていないのが残念だ」「学習ツアーであっても、目を引く食・温泉等の要素も必要なのではないか」「設定金額は学習ツアーとして捉えると、決して高くはない。熊日生涯学習プラザでは1万円以上の設定だが、それでも人は集まる」

○「7月実施分は戦後70年企画の様に、早期での事前告知等もできず、まだまだ企画を知らせることができていない現状である」「会社HP・FB等で告知しているが、募集につなげていない」「何処にどう働きかけるか、どう働きかけたが効果的か、まだ手探り状態である」「熊日・読売新聞で旅紹介を行ってもらったが、効果は限定的だ」

○「8/5を丁寧に取り組み、実績をまず残すことが大切ではないか」「観光面、証言等の記憶の継承面での評価も進めたい」



宮川さんによる旅行企画の経過報告

②「絵本・戦時資料から見た熊本空襲」展示会

※資料5・チラシ案

○くまもと戦跡ネット・熊本市（市立図書館）共催事業。ピースくまもとの後援・協力

○熊本市立図書館（大江）1階ロビーにて、7/10～8/28の開催期間

○上村さん講演会「空襲を語る絵本たち」は8/11（土）午後13時30分からの開催予定

○空襲関連絵本20点、お茶碗・端布等、防空・空襲の戦時資料を約60点を展示予定である。

③「戦争を語り継ぐ会」での証言記録集の出版等にあわせて、体験者の証言を聞く機会を、設定できないでしょうか。

4 戦争と平和ミュージアム設立に向けてのタイムテーブル（案）

※資料6

- 5年後の2022年（新元号4年度）を目処に進めていきたい。
- 平成30年度で、残り4回を実施し、A～C部会での作業部会協議をお願いしたい。
- その後の3年間で、署名・募金活動等を進め、NPO等法人化も視野に諸準備を進めていきたい。次回以降で詳細な意見交換を進めたい。

5 その他

- 次回の「第4回ピースくまもと設立準備事務局会」は、9月15日（土）13:30～15:00までを予定したい。
- なお、後半に「第23回戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会」の「第1回現地実行委員会」を15:15～16:45で開催します。
- タイムテーブル（案）の協議、会事務局体制づくり、A～C作業部会の編制（案） 他



「くまもと戦争遺産の旅」見学コースとなる落書き除去、説明看板が設置され整備が進む「黒石原飛行場奉安殿」



連絡先

ピースくまもと設立準備会 事務局長 高谷 和生

自宅 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺126-5

個人携帯 090-1513-5528

Eメール takayanagi912@yahoo.co.jp

<http://www.kumamoto-senseki.net/peace-kumamoto/>